

# 業種別景況予測

## 2023年10月～12月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部 会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概 況			
寝 装 リ ピ ン グ			「店頭販売は緩やかに回復しているがネット販売の伸びは鈍化。寝具の買い控えは顕著。(毛布製造業)」 「全体的に悪い。(毛布製造業)」 「温暖化、円安、物価高の為、先行き不透明。量販店の売上減少、ネット販売の売上好調。(毛布製造業)」 のコメントが寄せられた。			
織 維 フ ャ ッ シ ョ ン			「9月の気温が例年に比べて高いため、秋物の消費が進んでいない。(シャツ製造業)」 「サステナビリティーSDGsに配慮したものづくりが求められる。(繊維製品卸売業)」 「加工賃の値上げがなかなかできない。最終の製品価格が上がらないのが原因。(染色整理業)」 「円安と物価上昇の影響を受けて製品在庫増の様子。(紡績業)」 などのコメントが寄せられた。			
工 業			「どこの企業も受注が落ち込み、年内は回復難しい。(製缶板金業)」 「今年度は、単価の改善は進んだが量の低下がみられる。(鉄鋼業)」 「年末にかけて自動車国内生産は回復する見込みだが、産業機械等の生産は減少傾向。資材費、エネルギーの上昇分を加工賃値上げとして、お願いしているが大変厳しい。(化学工業)」 などのコメントが寄せられた。			
建 設			「人手不足が常態化。先行きはもっと厳しい。(建設業)」 「新築、リフォーム共減少。先が見えない。(建築業)」 などのコメントが寄せられた。			
運 輸 倉 庫			「燃料費、物価高騰によるコストアップ。(運送業)」 「物の動きが鈍く、売上は減少しているが、固定費も人手不足が原因で減少している。(倉庫業)」 「円安の影響が製品等の輸入が少なく低調な動き。(倉庫業)」 「2024年問題、2025年問題の準備が課題。(運送業)」 「2024年問題対応で荷主、協力会社と協議している。(運送業)」 などのコメントが寄せられた。			
金 融 理 財			「毎月顧客数が変動するので予測が難しい。サービス事務が増加した。(土業)」 「建築材料の高騰、取人(作業員)の慢性的な不足により工期の延長等の諸事情により業務が停滞することが多い。(土業)」 「燃料費等の値上げで苦戦している先が多い。(土業)」 「インボイス制度開始に伴い相談需要は増加している。(土業)」 「今後も法改正が続くので、その対応で忙しい(土業)」 などコメントが寄せられた。			
一 般 商 業			「9月後半からインフルエンザの患者が急激に増え始めコロナ患者も多少減ったとはいえ未だ多い状態が続いている為、売上はコロナ禍以前に戻りつつある。(医療品小売業)」 「円安傾向の流れで輸入商品の減少。多品種少量生産により追加注文に影響が出ている。(雑貨小売業)」 「すべての商品が値上げしている。(雑貨小売業)」 などのコメントが寄せられた。			
サービ 商 業			「大阪市内や関空周辺のホテルが徐々に満室状況にある為、稼働率が上昇傾向にある。(ホテル業)」 「値上がり、インボイスによる家賃値上げなど小規模事業者としてつらい。(飲食店業)」 「在宅訪問介護のみでは生き延びることができない。他業種との連携が必須。(介護業)」 などのコメントが寄せられた。			

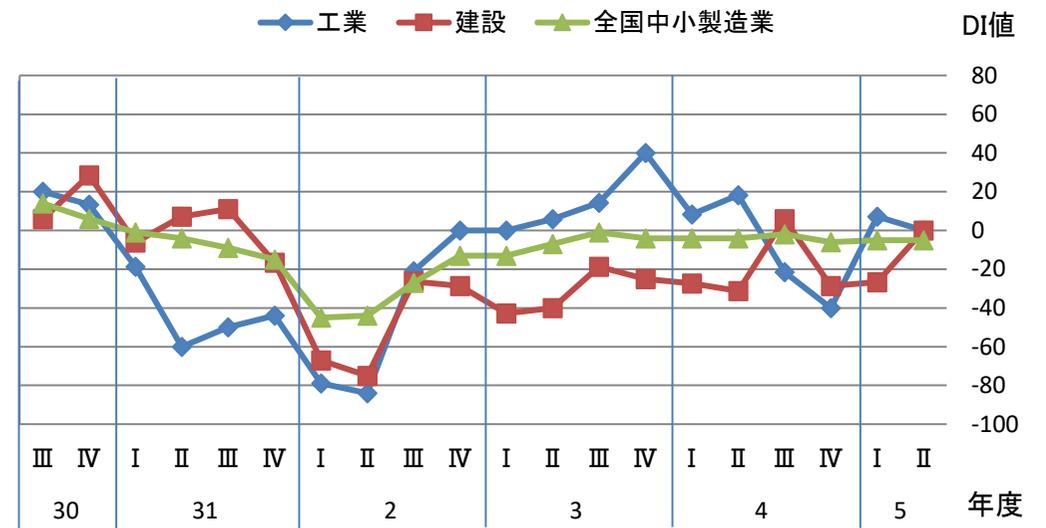
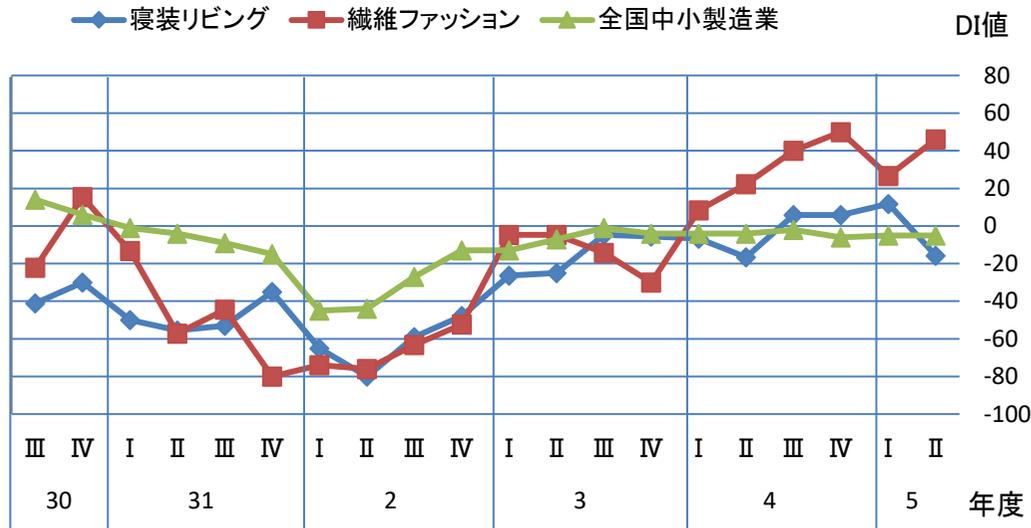
(調査概要) ●調査実施 令和5年10月 ●調査対象企業 278社 ●回答数 123社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にいただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

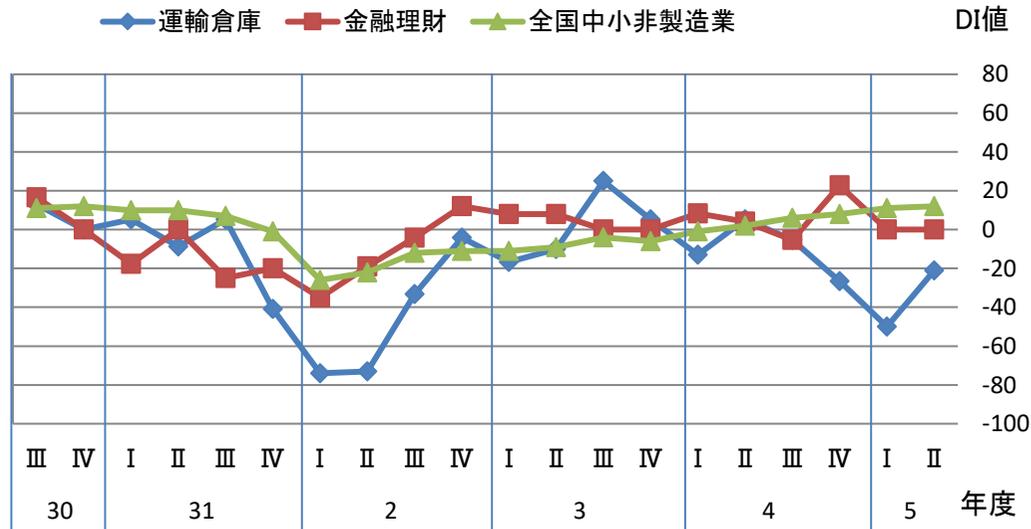
**前年同期と比較**

泉大津の全産業のDI値は前年同期に比べ、回復を見せた。業種別にみると、繊維ファッション業・建設業・一般商業・サービス商業については大幅に改善され、寝装リビング業はやや改善、工業・運輸倉庫業・金融理財業はやや悪化となった。



**前年同期と比較**

寝装リビング業・繊維ファッション業ともに、前年同期に比べ売上高は上昇傾向で、寝装リビング業は前期と比べ改善が見られ、繊維ファッション業は大幅な改善が見られた。

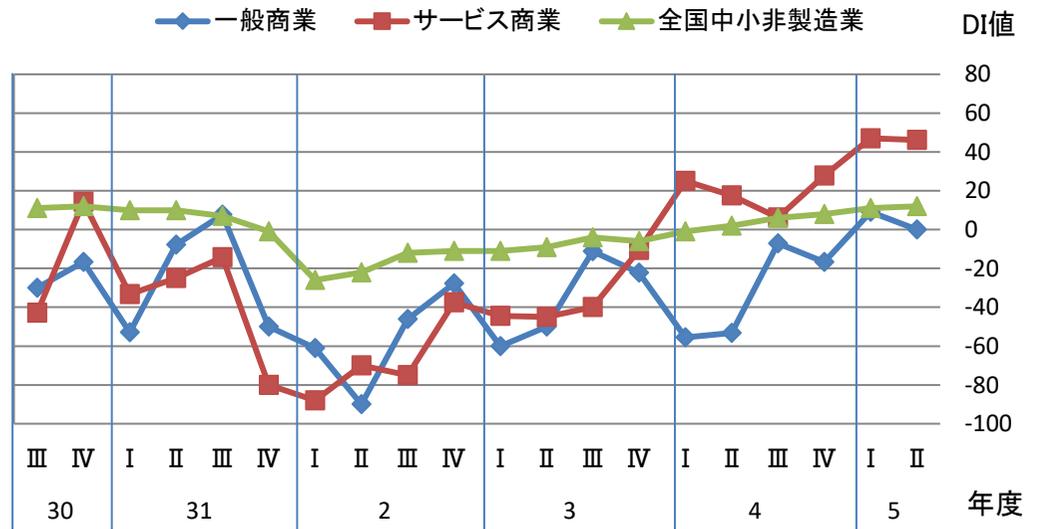


**前年同期と比較**

運輸倉庫業は回復傾向を示したが、前年同期まで回復していない。金融理財業は、前期に比べ減少したものの、前年同期と比べればほぼ横ばいの形となった。

**前年同期と比較**

工業は前年同期と比べやや悪化し、建設業は大幅に改善され、回復傾向が見れた。



**前年同期と比較**

一般商業・サービス商業ともに大幅に改善され、上昇傾向を示した。特にサービス商業は上昇傾向を維持している。

※DI値: 売上状況の回答 (増加-減少=DI値) ※H30.7 ゲリラ豪雨 ※H30.9 台風21号 ※R2.3 新型コロナウイルス感染症拡大  
 I = 第一四半期 (4~6月) II = 第二四半期 (7~9月) III = 第三四半期 (10~12月) IV = 第四四半期 (翌年1~3月)

⑨ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。